

那覇市立宇栄原小学校全教室公開授業研究会

那覇市内の銘苅小、金城小に続く市内3校目の「学びの共同体」挑戦校である。校長の多賀校長先生が銘苅小で金城小の初鹿野先生と校長と教頭時代のつながりがあり、二人が新天地のそれぞれの学校で新たな挑戦を始めたことになる。

「始まりだけがあり、終わりのないのが『学び』の研究である。」しかも、「完成した」という目に見える到達点もない。常に挑戦だけが永遠と続く。

「一人残らず…」にこだわる教師と、夢中になって学ぶ子ども達、そして子どもの姿から「安心」を得る保護者の果てしない理想の追求の旗がここでも挙げられた。

授業視察の前にちょっと校内を拝見させてもらった。休み時間に運動会のダンスの練習。自分達でカセットデッキを操作し楽しそうに踊っている。自然と私の顔も緩む。

写真①、手前の男の子、縄跳びがうまく結べないで困っている、友達が丁寧に教えてあげる。「こんなして…こんなして…こうするんだよ、ハイできた。」・・・「ありがとう。」が自然に出てくる。これが支え合いである。日常の授業における「支え合う」が、教師の居ない子ども達の日常でも実践されるようになることを目指したい。

【共通理解と共通実践】学校改革は一部の教師や管理職だけで実践しようとする、無理が生じてくる。一番困るのは、…当然子ども達である。「あの先生と、この先生の言うことが違う。」「去年までと今年が違う。」戸惑いや疑念が子ども達の中に生じてしまう。教師達の共通理解や共通実践は、形として見えるものもある。『教室の学習環境を整える』→『静然とした深い学びは、整然とした教室でしか生まれれない。』教室の棚やロッカー、掲示物、そして全校が集う場所に現れる。写真の靴箱、全体集会等での話の聴き方等がそれである。



【授業視察：公開された授業から抜粋させて紹介させていただきます】

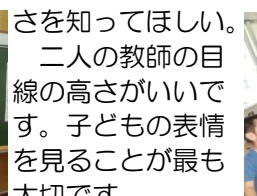
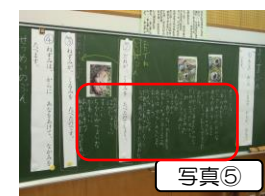
【写真から何がわかりますか？】



低学年はくっつけばくっつくほど安心します。写真①～③、1年4組です寄り添い、聴き合い、教室にしっかりと空気が流れ、みんな安心して自分の「分かった」を語っています。教師のテンションも低く、言葉も柔らかく言葉の量も少ない。写真③は「クルミの食べ方」をみんなでやっているところです。ほのぼののかわいいの一言です。実は、1年生の教室全体がこの空気なんです。教師たちが必死に子どもの声を聴き、子どもの声で授業をデザインしていこうとする空気（共通実践）を感じました。写真④～⑤、板書、書かれたのはすべて子どもの声。写真⑥、教師から「じゃあほんとに松ぼっくりを食べてみよう。えびフライみたいになるかな？」子ども達大喜びでむしり始める（モノの大切さですね）。写真⑦、大型教科書の有用性である。段落の区切りをどこにするか？みんなで吟味する。子どもの考えを教師が意図的に仲間に「つなぐ」どんどん自分の考えが出て、つながれていく。さて、写真⑧⑨のから何が学べますか？

「対話」や「一緒に」が苦手な子はどの教室にも必ずいます。どうやって、仲間に「つなぐ」かが教師の「ケア」です。一人でポケーっとしていても、声をかけられない子どもの寂しさを知ってほしい。

二人の教師の目線の高さがいいです。子どもの表情を見ることが最も大切です。



[友達の疑問を仲間につなぐ] 帯分数のたし算
子ども：6分の5は通分しなくていいんですか？

素朴な仲間の疑問が出た。教師は、躊躇なく仲間につないだ。仲間が必死に説明する。たどたどしい言葉だが、必死である。さらに説明が仲間につながる
教師よ、よく我慢した。教室の仲間は仲間で支える。



[教師は淡々と] $96 \div 32$ を説明する

この教室の子ども達の学び合いがすごい。教師は実に淡々とであるが、子ども達はなんの違和感もなく聴き合っている。実にいい空気が流れている。今の自分のやり方に自信を持ってほしい
(ビデオあり)



[難しい問題でつながる]・・・むずかしい、意味分からない → だから仲間と協力するが必然となる。



問題：「3つかさねたペーパーの周りの長さは何cmになりますか？」
残念ながらこの教室の写真はこの1枚しかない。結論からいきたい、この教室の学びは本物である。夢中になって「なぜ」「分からない」を訊き合い、必死になって仲間に説明し、支えようとする共同体である。私もびっくりしてあわててビデオカメラを回しているうちに写真を撮ることも忘れてしまっていた始末である。私が学校訪問でよく質問を受けるのが「ジャンプ課題」の設定についてである、ジャンプ課題は「できそうでできない」問題を準備したい。一人も「わからない」ものがいい。詳しくはいずれ…RシートNo.120 稲田小 No.125 北小を参照いただきたい(ビデオあり)

[分かってあげる]

この子たちにどこまで教えられるか？…ではありません。この子たちをどもまで「わかってあげられるか」が教師です。この子たちの存在が学校では絶対必要なのです。



[子どもにもこだわりがある]

先生、人の絵×で書いてもいいですか？
受け入れた教師の余裕に拍手である。



[夢中になって身を乗り出して聴き合い・支え合う教室]



子ども達は躊躇なく聴き合い、必死になって支え合い、しかも「分からない」を笑顔で対話している。なぜこのような学級がつかれるのだろう。

まず、教師と子ども、子どもと子どもの中で「聴き合うが成立している。」さらに、教室が安心して何でも話せる(教師が受け入れる)空間になっている。

無理のない教師の笑顔と「柔らかな言葉」が子ども達を安心させる。教室は子ども達にとって…この子たちが学校で一番安心できるのは教室でありたい。



[支援を要する子]

どこの学校、どこの教室にも居る。特別ではない、ちょっと個性の強い子。

授業中に聴き入れられなかったことにゆがんだ子がいた。気になって給食の時間に訪ねてみた。何事もなかったように仲間と一緒にになっていた。子どもは、やはり強い。大人はそう簡単には立ち直れませんね。最高の笑顔でした。



[発表する・共有する・吟味する・学び合う]

私たち宇米原小の授業では「こう考えます。」
定義や考え方を校内で共通理解したい。



[共通理解]

下の2枚の写真、子ども達のこの行為をどう見ますか。「ゆるされる？ ゆるされない？」



【5校時 焦点授業】 3年 算数 「何倍でしょう」 授業者：K・M先生

「ケースメソッド」教師として、子どもを育てる専門家としての互いの成長を図る。医者がベッドの傍らで成長し、弁護士が判例から学ぶように、教師は教室の事実から学ぶ。みんなで一つの授業観察し「学びの視点」に沿った観点で子ども



達の対話と関係を探り、教室の学びの事実を省察（リフレクション）する。
本日は、近隣校からの参加も含め40名あまりの先生方の参観でした。教室と授業を提供してくれたK・M先生にほんとうに感謝に尽きる

「教室の事実から学び合う校内研修」

- ☆教師の授業の研究から、
子どもの学びの研究へ
- ☆「すごい・活発な授業」から
静かで安心できる「素敵な授業」へ
- ☆授業は**デザイン**と**リフレクション**による教師の学びの研究へ
- ☆すべての子どもの名前が語られる、
子どものための校内研修
- ▲「見る側」、「見られる側」評価と助言

1:50 授業はじめ 黙想…。
授業開始前にはまず黙想である。気持ちの切り替え、呼吸を整える。落ち着く。那覇地区のすべての教室で実施されているらしい。



これも共通実践である。小さなことでも全教師がやる事に意義と価値がある。

2:02 課題が下ろされる。
まずは、教科書レベルの基本的なレベルの課題である。（できてほしいレベル）



ゴムで動く車の走った長さをくらべました。
赤の車は2m走りました。
青の車は赤の3倍、黄の車は青の2倍走りました。
黄の車は何m走りましたか。

2:07 [「分からない」、「なぜ」を訊ける子と、きけない子が2極化する]



写真①

上の3枚の写真は、隣のペアや後ろの子に体が向けられ、たがいに聴き合い、確かめ合いに入った。写真①は要注意！何もしようとしない男の子に手前の女の子の優しさが向けられたシーンである。つまり女の子が気にかけて救ってくれたのであるが、本来は男の子から「教えて」や「何で」の言葉が発せられる



事が肝心となる。学び合いは「分からない子が仲間に依存する。」ことから始まる。社会に一步出ると「分からない」ことを依存できる人と、できない人ではその利益は各段に差が出る。依存できない子ども達に言葉をもたせたい。「意味分かん」「教えて」「助けて」「なんで」「どうやったの」「ここどうするの」等。



2:28 ジャンプ課題がグループに下ろされる。子どもの笑顔は授業の最高のバロメータ！

下の写真の子ども達の笑顔、グループで課題をやることになり顔がゆるんだ教室の仲間達です。素敵な笑顔ですね。この子達にとって、これまでの30分はなんだったんだろう。分からない→依存の言葉を持たない→退屈→窮屈。



この子達の表情や仕草から眼をそらしてはいけません。真実を見る、事実から学ぶ、本音で語る
これまでの校内研修の考え方を払拭しましょう。

K・M先生お疲れさんでした。いや〜、私にとっても、宇栄原小からほんとにたくさんの学びがありました。焦点授業のK・M先生にはほんとに感謝します。今日、宇栄原小の先生方、他校から参観に来られた先生方にとってほんとに学びの多い焦点授業だったと思います。ぜひこのスタイルで校内研修を深めていってほしいと考えます。ちょっと厳しいRシートになってしまいましたが、それだけ宇栄原小には期待します。国頭地区でも頑張っています。互いにネットワークでつながりましょう。素敵な授業ありがとうございました。

国頭学びの会ゆい